

●生活予防部会アンケート

①生活支援サービスについて

○所属団体が生活支援サービスについて、現在行っている取組み
<p>(丸亀市民生委員児童委員協議会連合会)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・各自の見守り活動の充実。そこで得た情報等を民児協で発表し、他の委員も参考にする。 (行政等へのつなぎ案件は即実行)</li><li>・ゴミ出し等で困っている場合近隣の人に手伝いを依頼。</li><li>・近隣の方の助け合いの必要性を折に触れて地域の方に周知を図る。</li></ul> <p>(CM 部会)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・配食サービス・安心キット・助け合い金庫・車いす貸与・福祉車両貸与・福祉情報メール配信・生活福祉資金・後見人事業・日常生活自立支援事業</li></ul> <p>(在宅サービス部会・通所系)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・送迎時：着替えの準備・エアコン管理・洗濯準備・ゴミ出し・配食弁当管理、発注・戸締り 他：買い物</li></ul> <p>(在宅サービス部会・訪問系)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自費サービスとして(身体介助、生活支援、院内介助)その他草抜き、片付け等しています。</li><li>・買い物代行や買い物付き添い、市役所への手続き代行、家事等</li><li>・福祉タクシー、移動販売の紹介</li></ul> <p>(丸亀市社会福祉協議会)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・たすけあいサービス事業(コミュニティ2ヶ所 飯山北 飯山南)</li><li>・生活支援は配食サービス事業 週5日間昼食のみ(延べ725人 1040食)</li><li>・車いす貸出事業(延べ249人 945回)</li><li>・福祉車両貸出事業(6件)</li><li>・育児用品貸出事業</li></ul> <p>(丸亀市老人クラブ連合会)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・料理教室を年2回行っている。</li></ul> <p>(丸亀市シルバー人材センター)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・屋内清掃、見守り、洗濯、買い物、調理(炊事)、台所・冷蔵庫の掃除、ゴミだし、水やり(各家庭 1~3回/週)、話し相手</li><li>・病院・薬局の薬受け取り</li><li>・入院中の洗濯、退院の付き添い、通院介助(施設入居者からの依頼が多い)</li><li>・銀行、買い物の付き添い(タクシー利用、施設入居者からの依頼が多い)</li></ul> <p>(市・市民活動推進課)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・独居高齢者や高齢者世帯への手作り給食配布・すし・ヤクルトなどを配布し、慰問</li><li>・いきいきサロンの開催</li><li>・たすけあいサービス事業の実施</li></ul> <p>(市・健康課)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・丸亀市健康増進計画(健やかまるがめ21)に沿って、市民が元気に過ごせるような事業を実施している。 具体的には、各種検診(がん検診、特定検診、後期高齢者検診等)健康教育(若返り筋トレ教室、歩行プール、腎臓サポート教室、特定保健指導等)健康相談、家庭訪問等。</li></ul> <p>(市・公共施設管理課)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・住宅の賃貸</li></ul>

○ふくし井戸端会議の結果報告書での丸亀市全体の課題について(不足しているもの、必要なものは何か?)
<p>【情報】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・高齢者にしても障がい者にしても本当に支援を必要とされる方の把握が十分でない。(行政自体が情報を出さない)</li><li>・障がい者についての情報が不足している。</li><li>・高齢者について『情報不足』の支援が必要な人ではなく支援が必要になった場合の連絡先が必要。</li></ul> <p>【地域関係】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・隣近所の信頼関係が弱い。</li><li>・一人暮らしが増えてきて、地域との交流もすくなく孤独である。</li><li>・高齢化・コミュニティ機能の低下</li><li>・全世代を通して地域のつながりがなくなっていると感じているところが多い。</li></ul> <p>【移動】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・公共の交通機関が不便である。</li><li>・デマンドタクシーのような交通手段(買い物・病院等への移動手段確保)</li><li>・「移動」サービスを充実させる事で、買い物、通院、散発等日常の活動参加の継続ができる。</li><li>・高齢者・1人暮らし又はそれに近い(老老介護)人達の足の問題をどうかしたい。綾歌町(栗熊・岡田・富熊)では介護タクシーも無い。この状態をどこまで市・コミュニティ・自治会でカバーできるか?簡単に答えがでない。</li></ul> <p>【仕組みづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・たすけあいサービスを全地区で実施するための支援(補助金・しくみづくり)</li><li>・多様なケースによる「担い手」不足</li><li>・住居近くで買い物ができる仕組みを作る(定期の市場)</li><li>・個々のニーズに合わせた柔軟なサービス提供システム(それを誰が行うのか?)</li><li>・近所どうしの助けあい支えあいのしくみ(参照:自治会加入、マンション)</li><li>・買い物、ゴミ出し(資源ゴミ・不燃ゴミ・ペットボトル等)</li></ul> <p>【居場所づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・居場所づくり(郡家・岡田で実施中のカフェ等)への支援(補助金)</li><li>・様々な立場の人が集まることのできる居場所(ex、高齢、障がい、子ども、困窮)</li></ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・丸亀市の場所による格差。</li><li>・専門職を含めて会議することで解決することがあると感じた。それぞれの代表が集まる会議を周知いただけたら参加でき協力できる。小さなそれぞれが出来事をつなげる事のできる集会を作るべきです。</li></ul>

○その課題に所属団体として何ができるか？

**(丸亀市民生委員児童委員協議会連合会)**

- ・現状は民生委員に求めていることと、行政がしている事(情報ナシ)は本末転倒。その改善を求めつつ、自身の地道な活動で情報を増やしていく。
- ・勉強会等を利用して地域の方に隣近所の助け合いの必要を説明し、地域ごとに具体的に実行していく。

**(CM 部会)**

- ・高齢者が気軽に参加できる。居場所づくりをする。

**(在宅サービス部会・通所系)**

- ・中心市街地を利用した生活支援の場作り

**(在宅サービス部会・訪問系)**

- ・乗り合いタクシーとして、買い物にお連れできる。
- ・障がいの勉強会に講師として参加できる。
- ・いざという時の為の介護登録を行える。

**(老人介護支援センター)**

- ・施設内での移動スーパーも実施したが対象者がデイサービス利用者に限られ売上の問題で中止。ここへ近所の老人の方を参加してもらっても施設の立地条件(高台にある)を考えると難しいと思われ?となる。

**(丸亀市社会福祉協議会)**

- ・福祉協力員活動の推進

**(丸亀市シルバー人材センター)**

- ・委託に基づく請負業務としてのサービスの提供
- ・にじいろカフェ(認知症カフェ)計画中 1~2回/月 外浜団地周辺

**(市・市民活動推進課)**

- ・全コミュニティでのたすけあいサービスの実施(市による支援が必要)

**(市・健康課)**

- ・人がつながるような声かけ(コミュニティ、愛育班など)

**(市・公共施設管理課)**

- ・若年世代の入居促進
- ・自治会活動の促進

## ②介護予防について

○所属団体が介護予防について、現在行っている取組み

**（丸亀市民生委員児童委員協議会連合会）**

- ・城北コミュニティでは各部がそれぞれ介護予防の活動をしており、民生委員として、これらを利用する様に折に触れて説明、依頼している。
- ・民生委員（福祉部）の行う事業は目的はすべて介護予防につながり、意識している事は各事業に多数の方の参加を求めている。

**（在宅サービス部会・通所系）**

- ・活動と参加の場（1回/月開催）

**（在宅サービス部会・訪問系）**

- ・自費サービスの範囲内で、散歩やお墓参りを行っています。
- ・ご自宅に伺った際には手や足を動かす体操を教えています。

**（香川県作業療法士会）**

- ・体操教室の依頼があれば、講師派遣を随時行っている。前年度「にじいろカフェ」へ派遣。

**（丸亀市社会福祉協議会）**

- ・一人暮らし高齢者等居場所づくり事業 保健センター3ヶ所（丸亀・綾歌・飯山）
- ・ふれあいいきいきサロン事業 現在 118ヶ所（丸亀 74 綾歌 23 飯山 21）

**（丸亀市老人クラブ連合会）**

- ・行事がある時、老人会の「いきいき体操」を行っている。
- ・2回/年「あるけあるけ」で市民会館前から丸亀城を一周歩いている。

**（丸亀市シルバー人材センター）**

- ・認知症の方の話し相手（散歩、折鶴、大正琴と歌、習字等）
  - ・留守家庭の見守り（1回/日 身の回りの整理、散歩）
  - ・継続的な就業により、予防につながるという見方もある。（間接的）
- シルバー会員は非会員より、年間6万円程度医療費が少ないという統計データがある。**

**（市・市民活動推進課）**

- ・認知症サポーター養成講座・認知症に関する研修会・認知症予防教室・介護教室・認知症カフェ・介護予防体操教室・健康相談

**（市・健康課）**

- ・若返り筋トレ事業、歩行プール、健康運動教室、特定保健指導、腎臓サポート教室、健康相談、健康教室（講演会）など

○所属団体として、丸亀市全体における介護予防についての課題とを感じるものは何か？

**（丸亀市民生委員児童委員協議会連合会）**

- ・所属団体と行政との信頼関係が弱いのではないか（先にも触れたが情報の在り方は本末転倒）
- ・障がい者の情報も少なく、市内の多くの地区で困っている。

**（CM部会）**

- ・今後は、認知症予防等のためになる教室等があればと考える。

**（在宅サービス部会・通所系）**

- ・身体機能中心と思われる。生活機能（買物、料理、学び、仕事）が継続できる仕組みを含める。

**（在宅サービス部会・訪問系）**

- ・本当に行く必要のある方に声が届いてないので、事業所やボランティアからも独居の方に声かけするようになると良いと思う。

**（丸亀市社会福祉協議会）**

- ・自助意識
- ・個人情報への過度な対応は大きな課題と感じる。

**（丸亀市老人クラブ連合会）**

- ・介護予防において実行していると思いますが、出席する人が少ないのではないのでしょうか。

**（丸亀市シルバー人材センター）**

- ・ボランティア部分と有償によるものとの兼ね合いを考えていく必要がある。全国で既に総合事業に参加しているシルバー人材センターでは、市から委託されて事業活動をしているところがある。ボランティアによる活発で効果的なものもあるが、市内各コミュニティで同レベルの認識レベルを維持することはむずかしい。地域によってその差があるので、活発なところはボランティアでも十分な活動が維持できるが、ある程度の均質なサービス提供の水平展開としては委託によるものが良い。短期ならばともかく、長期にわたるサービス維持を考えるならば、委託によるものが必要である。

また、料金は受託事業者で異なり不明確なものとなると、市民から使いにくいサービスとなる。要支援①②認定者以外でもOKとなる以上、市民からは単一的な手続き・支払いで済むようにしておく必要がある。

**（市・市民活動推進課）**

- ・コミュニティは、認知症関連事業を継続的に実施していく大変さがあるようだ。参加者の高齢化やマンネリ化等の課題に対し、市が寄り添ってアドバイスをしていく必要があると思う。また、コミュニティに関わろうとしない人達への周知・啓発などが課題。

**（市・健康課）**

- ・地域の中で、住民自身の互助。人づくり。自助、公助の意識に比べると薄い気がする。

**（市・公共施設管理課）**

- ・参加者の固定化

○課題について所属団体として何ができるか？

**(丸亀市民生委員児童委員協議会連合会)**

- ねばり強くお互いの信頼関係を築く。情報の必要性を説く。
- 各障がい者団体と交渉をもち、民生委員を理解して貰い互いの団体と協力関係を築く。

**(在宅サービス部会・通所系)**

- 中心市街地を利用した介護予防の場作り

**(在宅サービス部会・訪問系)**

- 自費サービスの範囲内で、散歩やお墓参りを行っています。
- ご自宅に伺った際には手や足を動かす体操を教えています。

**(丸亀市社会福祉協議会)**

- ふれあいいきいきサロンでの啓発（高齢者の役割を創る）
- さまざまな角度からのアプローチをすることで関わる人を増やす（参照：災害時要援護者福祉マップ、家具転倒防止器具設置）

**(丸亀市老人クラブ連合会)**

- 老人会に開催書類等を回していただき役員が会員に伝える事（多いに老人会を使って下さい）

**(丸亀市シルバー人材センター)**

- 「就業の場所を提供する」という考え方であれば、いろいろなことに取り組んでいきたい。

**(市・市民活動推進課)**

- 若い世代をコミュニティ活動に引き込み、事業の活性化を促す必要があるか現実には困難。

**(市・健康課)**

- お互いを思いやる関係作り。お互い声かけができる環境をつくる。  
健康課は、地域の健康づくりに向けて事業を実施していますが、今回のアンケートのあるような生活支援や介護予防についても目指すところは共通していると思います。

**(市・公共施設管理課)**

- 住民への情報提供、開催場所の提供